

## 杉並区オリンピック・パラリンピック・スポーツアドバイザーの設置について

杉並区オリンピック・パラリンピック・スポーツアドバイザーの設置について、以下のとおり報告する。

### 1 設置目的

大会の開催にあたり、専門的な立場から助言を受けることにより、区立体育施設を活用した区民の気運醸成、オリンピック・パラリンピックレガシーの創出及び地域スポーツ活動の活性化等を効果的に展開することを目的として、アドバイザーを設置する。

### 2 設置根拠

杉並区オリンピック・パラリンピック・スポーツアドバイザー設置要綱を制定する。

### 3 任期及び設置期間

任期は委嘱した年度内とする（平成 31 年 3 月 31 日）。ただし、平成 33 年 3 月 31 日までを限度として、毎年度再任することができる。

### 4 アドバイザーの役割

- ① 大会での外国チームの事前キャンプ誘致活動への助言及び協力。
- ② 事前キャンプ実施時の区民交流事業等に関する助言及び協力。
- ③ 大会に関連する事業実施や PR 活動に関する助言及び協力。
- ④ 地域のスポーツ振興活動への助言及び協力。

### 5 委嘱等

#### ① 委嘱

オリンピック・パラリンピックやその他スポーツの分野において、幅広い人脈や知識を持つとともに、知名度が高く、区の取組に対する PR 効果も見込まれる者であり、適当と認める者を区長が委嘱する。

#### ② 人数

若干名。

#### ③ 報酬

活動に対して謝礼金を給付する。

## 前バレーボール日本男子代表監督

## 南部正司氏がアドバイザーに就任

区立体育施設等を活用した区民の気運醸成及びオリンピック・パラリンピックレガシーの創出、地域スポーツ活動の活性化等について、専門的な立場から助言する「オリンピック・パラリンピック・スポーツアドバイザー」に、バレーボール日本男子代表監督も務めた南部正司氏（51歳）が就任することとなりました。

スポーツアドバイザーの委嘱は、2～3名を予定していますが、南部氏にはバレーボールを通して培った交友関係や識見を活かし、ビーチバレーボールのIF（国際競技連盟）基準を満たしている永福体育館のビーチコートの活用や事前キャンプの誘致などにご助力いただきます。



【委嘱】 平成30年11月12日（月）

## 【経歴】

- ・1990 大阪商業大学卒業後、日新製鋼入社、アタッカーとして活躍
- ・1995 バレーボール・ワールドリーグ日本代表
- ・1997～2001 パナソニックパンサーズ移籍
- ・2002 パナソニックパンサーズコーチ就任
- ・2007～2013 パナソニックパンサーズ監督就任  
この間、プレミアリーグ優勝4回、準優勝1回  
天皇杯優勝3回、準優勝1回  
黒鷲旗大会優勝5回、準優勝1回  
2012年には、3冠制覇
- ・2014～2016 バレーボール日本男子代表監督就任
- ・2017 パナソニックパンサーズ部長就任